

授業科目名	基礎英語 Cクラス	科目コード	G0401L09
英文名	Basic English		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 国際化対応科目 - 外国語科目
------	--------------------------------

職名	非常勤講師	担当教員名	David Coolidge
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	木曜日	時限	4限目
開講時期	1年後期	授業の方法	講義
必修・選択	学部必修	単位数	2単位

授業の概要	This course focuses on improving reading, writing, and speaking skills acquired in High School. This class will be separated into reading comprehension and writing homework, and in-class discussion. Students will be expected to check necessary vocabulary and grammar before class, and speak and discuss in class			
-------	---	--	--	--

キーワード	Reading	Writing	Speaking	Grammar	Vocabulary
-------	---------	---------	----------	---------	------------

到達目標	目標 : Improve reading, writing, speaking, and listening skills. 目標 : Improve confidence when speaking in English. 目標 : Introduce students to academic writing.			
------	---	--	--	--

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力(専門性の向上)	
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上	

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
			/	/

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Course introduction Rules and Policies. 授業の内容、進め方の説明	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	Small Worlds 1 In-class homework check, vocabulary review, discussion.	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	Small Worlds 2 In-class homework check, vocabulary review, discussion.	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	Small Worlds 3 In-class homework check, vocabulary review, discussion.	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	Small Worlds 4 In-class homework check, vocabulary review, discussion.	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	中間テスト Midterm test, free talk	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	Into Space 1 In-class Homework check, vocabulary review, discussion.	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	Into Space 2 In-class Homework check, vocabulary review, discussion.	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第9回	Into Space 3 In-class Homework check, vocabulary review, discussion.	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	Into Space 4 In-class Homework check, vocabulary review, discussion.	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第11回	発表 Student Presentations, lecture, discussions	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	Unusual Jobs 1 In-class Homework check, vocabulary review, discussion.	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	Unusual Jobs 2 In-class Homework check, vocabulary review, discussion.	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	Unusual Jobs 3 In-class Homework check, vocabulary review, discussion.	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	Unusual Jobs 4 In-class Homework check, vocabulary review, discussion.	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第16回	期末試験 Final Exam, free talk	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	Midterm tests 20%, Student Presentations 20%, Final Exam 30%, Homework 15%, Inclass exercises and discussion, 15%. The grading system will be explained in class. 中間テスト 20%、発表 20%、宿題 15%、期末試験 30%、授業中の課題、活動 15% で評価する。授業で評価方法について説明がある。		
使用資料 <テキスト>	Reading Explorer 1	使用資料 <参考図書>	Dictionaries. 辞書：和英、英和、英英
授業外学修等	Students are required to read, check vocabulary, and answer questions before class.		
授業外質問方法	Contact by email: crashae86@yahoo.com		
オフィス・アワー			

授業科目名	実践英語			科目コード	G0401L22
英文名	Practical English				
科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 国際化対応科目 - 外国語科目				
職名	非常勤講師	担当教員名	David Coolidge		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日 木曜日	時限	3限目 3限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択必修	単位数	4単位		
授業の概要	This course is focused mainly on improving listening and conversation in class. Students will speak and discuss topics in class. While the class focuses on conversation, there will also be written and reading assignments throughout the course, especially in preparation for topics discussed in class. There will also be group work, and some reports.				
キーワード	Listening	Speaking	Reading	Writing	Vocabulary
到達目標	目標 : Improve listening, speaking, reading, and writing skills, and cultural awareness. 目標 : Be able to understand instructions in English. 目標 : Be able to discuss topics in English.				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)				
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上				
キー・コンピテンシー(重視する能力)					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Course Introduction. Rules and Policies. 授業の内容、進め方の説明	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	Student introduction and goals. "Why language is like driving"	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	Critical Thinking, Music "Which is better," "Why"	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	Animal Control. "Wild animals close to humans"	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	Current Events. Articles, Discussion	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	Trade. Open Topic	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	Business and the Internet. Discussion	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	Current Events. Articles, Discussion	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	No Right Answer	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第10回	Environment. Education	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第11回	Current Events. Articles, Discussion	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	中間テスト Free Talk	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	Immigration, "Good and bad"	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	Current Events. Articles, Discussion	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	No Right Answer	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第16回	Tourism. Surrounding Business	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第17回	Current Events. Articles, Discussion	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第18回	No Right Answer	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第19回	Housing. "Rent, loan, or mortgage?"	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第20回	Current Events. Articles, Discussion	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第21回	Movies. "Plot or spectacle"	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第22回	Game Theory	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第23回	Current Events. Articles, Discussion	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第24回	No Right Answer. Grammar Introduction, Discussion	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第25回	Environmental Impact, Natural Tourism	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第26回	Current Events. Articles, Discussion	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第27回	Education, "Studying the material vs. Studying the test"	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

	Current Events. Articles, Discussion	
第28回	【予習】	0分
	【復習】	0分
	Games, "Good or bad"	
第29回	【予習】	0分
	【復習】	0分
	No Right Answer	
第30回	【予習】	0分
	【復習】	0分
	Current Events. Articles, Discussion	
第31回	【予習】	0分
	【復習】	0分
	Course Review	
第32回	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	Midterm tests 15%, Student Presentations 15%, Final Exam 20%, Homework 20%, Inclass exercises and discussion, 30%. The grading system will be explained in class. 中間テスト 15%、発表 15%、期末試験 20%、宿題 20%、授業中の課題、活動 30% で評価する。授業で評価方法について説明がある。		
使用資料 <テキスト>	All materials will be provided by the teacher	使用資料 <参考図書>	Dictionaries. 辞書：和英、英和、英英
授業外学修等	Students are required to take part in English Café activities		
授業外質問方法	Contact by email: crashae86@yahoo.com		
オフィス・アワー	水曜日 11:00 ~ 13:00、at English Café		

授業科目名	中国語 bクラス	科目コード	G0401L16
英文名	Chinese		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 国際化対応科目 - 外国語科目
------	--------------------------------

職名	非常勤講師	担当教員名	銭 輝
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日 木曜日	時限	3限目 3限目
開講時期	1年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択必修	単位数	4単位

授業の概要	前期に引き続き、中国語の基礎語法、表現を学び、発音練習、音読、例文を中心とした作文、またヒヤリング、スピーキングなどの練習を繰り返して行います。受講者のみなさんに予習と復習を欠かさず、熱心に勉強してほしい、一年間で基礎的な使える中国語を身に付けることを目指します。			
-------	--	--	--	--

キーワード	基礎文法	作文	応用練習	身につける
-------	------	----	------	-------

到達目標	<p>目標1：正しく発音ができ、基礎的な語法や文型において使いこなせるようにする。</p> <p>目標2：中国語で自己紹介、日常に必要な文章が書けるようにする。</p> <p>目標3：中国人と会話ができる力を身に付けるようにする。</p>			
------	---	--	--	--

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)
-----------	-------------------------

カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上
------------	-----------------

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	前期の復習 (グループワークで活動)	
	【予習】グループワークの準備	0分
	【復習】前期の復習	0分
第2回	第十二課 お店での言葉使い方	
	【予習】単語と本文の熟読	0分
	【復習】単語と本文を覚えるようにする	0分
第3回	第十二課 お店での言葉使い方	
	【予習】作文練習	0分
	【復習】会話練習	0分
第4回	第十二課 お金の言い方	
	【予習】買い物に関する単語調べ	0分
	【復習】文法練習	0分
第5回	買い物する	
	【予習】会話練習準備	0分
	【復習】総合練習	0分
第6回	お誕生日祝い、プレゼントをする	
	【予習】誕生日祝いに関する表現	0分
	【復習】応用練習	0分
第7回	第十三課 休日の過ごし方	
	【予習】単語と本文の熟読	0分
	【復習】単語と本文の覚え	0分
第8回	第十三課 ~から~までの表現	
	【予習】文型で作文練習	0分
	【復習】会話練習	0分
第9回	復習・小テスト	
	【予習】テスト準備	0分
	【復習】テスト勉強	0分

第10回	第十四課 体の調子の言い方	
	【予習】単語と本文を熟読	0分
	【復習】単語と本文を覚えるようにする	0分
第11回	第十四課 副詞・助動詞	
	【予習】副詞、助動詞を調べ	0分
	【復習】副詞、助動詞の使い方を覚えるようにする	0分
第12回	第十五課 仕事についての表現	
	【予習】単語と本文を調べ	0分
	【復習】単語と本文を覚えるようにする	0分
第13回	第十五課 原因、理由を述べる表現	
	【予習】原因、理由を述べる表現の使い方	0分
	【復習】応用練習	0分
第14回	第十五課 使役・受身の表現	
	【予習】使役、受け身の表現を調べ	0分
	【復習】作文練習	0分
第15回	第十六課 中国のお正月	
	【予習】単語と本文を調べ	0分
	【復習】単語と本文を覚えるようにする	0分
第16回	第十六課 ~ために の表現	
	【予習】作文練習	0分
	【復習】総合練習	0分
第17回	テスト	
	【予習】テスト勉強	0分
	【復習】テストまとめ	0分
第18回	グループで会話練習	
	【予習】会話練習準備	0分
	【復習】会話発表	0分

第19回	動作状態に持続「v+着」	
	【予習】「着」の使い方を調べ	0分
	【復習】応用練習	0分
第20回	方向補語	
	【予習】方向補語の調べ	0分
	【復習】作文練習	0分
第21回	グループで会話を練習する	
	【予習】会話練習の準備	0分
	【復習】応用練習	0分
第22回	助動詞・結果補語	
	【予習】助動詞・結果補語の調べ	0分
	【復習】作文練習	0分
第23回	複文文型	
	【予習】新しい文型の理解	0分
	【復習】文型で作文を練習	0分
第24回	例えの表現	
	【予習】作文練習	0分
	【復習】応用練習	0分
第25回	復習・小テスト	
	【予習】単語と本文	0分
	【復習】文法のまとめ	0分
第26回	「了」の使い方	
	【予習】文型の応用	0分
	【復習】まとめて練習	0分
第27回	会、能、可以の使い方	
	【予習】使い方の共通点と違う点を調べ	0分
	【復習】会、能、可以の使い方の練習	0分

第28回	文法のまとめ	
	【予習】作文練習	0分
	【復習】全体の応用練習	0分
第29回	会話練習	
	【予習】会話内容の準備	0分
	【復習】会話発表	0分
第30回	4級問題集にチャレンジ	
	【予習】プリントで練習	0分
	【復習】練習答案合わせ	0分
第31回	復習	
	【予習】応用練習	0分
	【復習】テスト勉強、	0分
第32回	期末テスト	
	【予習】テスト勉強	0分
	【復習】応用練習、大まとめ	0分

評価方法	1. 授業態度 (30%) (ノートの取り状況、グループワークの参加度、朗読・会話・応用練習の真剣さ) 2. 出席状況 (30%) (無断に欠席・遅刻・早退しないこと) 3. 課題 (40%) (宿題の完成度、プリントの提出状況、中間テスト・期末テストの成績) 以上で総合的に評価します。
------	---

使用資料 <テキスト>	應 廣建・湯 麗敏『スタート中国語』 白帝社	使用資料 <参考図書>	小学館「中日辞典・日中辞典」
----------------	---------------------------	----------------	----------------

授業外学修等	必ず予習、復習をしてから授業に臨んでください。間違っても、下手でも、とにかく「言ってみよう！聞いてみよう！」「話してみよう」にしましょう。
授業外質問方法	質問があれば、遠慮せずにいつでも聞いてください。(424湯研究室)
オフィス・アワー	火曜日 2限

授業科目名	地域社会論	科目コード	G1201L02
英文名	Regional Society		

科目区分	学部共通科目 - 地域づくり科目		
------	------------------	--	--

職名	客員教授	担当教員名	浜松 誠二
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日	時限	4限目
開講時期	1年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	『富山を考えるヒント』の内容に沿って、地域の構造、各分野の捉え方、それに必要な用語、技法等を解説します。 総論、産業、生活、郷土			
-------	---	--	--	--

キーワード	地域を捉える	地域を考える	根拠ある説明		
-------	--------	--------	--------	--	--

到達目標	<p>目標 : 地域の課題を包括的に捉える力を習得する。</p> <p>目標 : 統計データ等を元に、課題を発見し、検討する力を養う。</p> <p>目標 : 「自分が地域社会の一端を支えているのだ」という健全な当事者意識を持つ。</p>			
------	---	--	--	--

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)		
-----------	-------------------------	--	--

カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上		
------------	------------------	--	--

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
---------------------------	--	--	--	--

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
-------------------	--	--	--	--	--

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業の概要 地域社会をいかに捉えるか 地域の捉え方、富山の豊かさ、富山の地域構造、豊かさの基盤の揺らぎ	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	自然環境 地形、気象、生活の舞台	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	人口 人口総数、人口動態、人口の将来	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	経済 県民所得、生産・分配・支出、産業の転換	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	国際環境 地球温暖化、食糧危機	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	現代社会 / 産業構造 再帰的近代化 / 産業構造の特徴と転換、景気動向	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	各業種展望 産業界種別外観	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	企業経営 / 労働 事業所の状況 / 労働力人口、雇用機会、雇用形態	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第9回	新しい産業像 新たな産業群	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	自立する世帯 / 生活意識とコミュニティ 世帯規模、家計、自立した暮らし / 生活行動、県民意識、ボランティア	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第11回	社会福祉 / 健康 / 学校教育 / 生涯学習と文化スポーツ 生活保護、高齢者の暮らし、生活不安 / 医療、平均寿命 / 学校教育 / 生涯学習、文化活動、スポーツ	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	土地利用制度 土地利用計画、都市の分散、地価動向	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	都市 / 住居 分散居住と都市集中、都市計画の課題 / 住宅、住宅設備、上下水道、ゴミ処理	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	基盤施設整備 公共投資(道路、治水、下水道等)	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	地域創りのシナリオ	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第16回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	各回時間末ミニレポート他(60%)、分野別レポート(4回、40%)		
使用資料 <テキスト>	浜松誠二『富山を考えるヒント』 http://ww3.ctt.ne.jp/~seijiham/	使用資料 <参考図書>	必要に応じ紹介
授業外学修等	授業Webサイト ; http://www.tuins.ac.jp/~ham/jyugyou/ls/ls.html 予習・復習では、講義で提示する統計図表の意味を自分で確認し、理解を深めること。 課題レポートでは、報告書の図表の作成方法を自習すること。		
授業外質問方法	eメール hamamatsu@toyama.email.ne.jp		
オフィス・アワー			

授業科目名	ジェンダー論	科目コード	K0602L02
英文名	Gender		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 少子高齢化対応
------	--------------------------

職名	教授	担当教員名	彼谷 環
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	月曜日	時限	4限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	社会的・文化的な性のありようを意味するジェンダーは、時代や地域、社会によって意識変化がみられる。ジェンダーの概念はどのような社会変化のなかで成立し、制度や法に影響を与えてきたのだろうか。現在、男女共同参画社会が目指される日本で、「ジェンダー平等」はどこまで実現したか、また、依然どのような課題を抱えているか考える。			
-------	---	--	--	--

キーワード	ジェンダー平等	ポジティブ・アクシ	男女共同参画	DV	ワーク・ライフ・バ
-------	---------	-----------	--------	----	-----------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな社会現象や法的社会的制度について、ジェンダーの視点から認識できるようにする。 ・これまで普遍的だとされていた考え方に対し、異なる視点があることを理解し、幅広い価値観を身につける。 ・問題が生まれる社会的・政治的背景について考え、これを解決する方法について議論できるようにする。 				
------	--	--	--	--	--

卒業要件・資格関連等					
------------	--	--	--	--	--

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	1.「人」としての資質・能力（人間性の向上）				
-----------	------------------------	--	--	--	--

カリキュラムポリシー	1.子ども育成の教養				
------------	------------	--	--	--	--

キー・コンピテンシー（重視する能力）					
--------------------	--	--	--	--	--

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
------------	--	--	--	--	--

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス 「ジェンダー」とはなにか、「両性の平等」原則と現実とのギャップ	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	近代日本における性差別と今日の動向 「男/女」（性別二元論）に基づく社会制度の変更？	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	教育 学校教育におけるジェンダー・バイアス（「隠されたカリキュラム」）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	家族 現代に残る「家制度」、変容する家族のあり方	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	契約 「いのちの値段」と男女格差、「レディース・デー」は男性排除？	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	労働 男女雇用均等法の歴史と展開、「セクハラ」・「マタハラ」被害の裁判例	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	社会保障 家族モデルの変化、社会保障制度の未来	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	性暴力・その1 刑法上の犯罪	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	性暴力・その2 ドメスティック・バイオレンス（DV）、デートDV、児童虐待	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第10回	産む自由 / 産まない自由 「リプロダクティブ・ライツ」(性的自己決定権)の歴史と内容	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第11回	性表現 ボルノグラフィと「表現の自由」	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	政策決定 政治・行政における女性参加、ポジティブ・アクション	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	司法 犯罪被害者・犯罪加害者とジェンダー	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	男性にとってのジェンダ ワーク・ライフ・バランス(WLB)の実現と課題	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	世界のなかの性差別 持参金制度(インド)、女子割礼(アフリカ諸国)ほか	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第16回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	出席状況（20%）、授業への取り組み（30%）、課題レポート（50%）を総合的に評価します。		
使用資料 <テキスト>	犬伏由子ほか編『レクチャー ジェンダー法』（法律文化社）	使用資料 <参考図書>	テーマにあわせ適宜資料を配布する。
授業外学修等	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のはじめに今日生起している法的社会的ニュースを取り上げるので、各自新聞をよく読んでくること。 ・授業テーマについては、テキストや資料・文献等を参考に復習を心がけること。 		
授業外質問方法	時間外の質問は、メールで受け付けます。彼谷（kayatama@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー			

授業科目名	法学	科目コード	K0203L02
英文名	Jurisprudence		

科目区分	共存・共生へのアプローチ科目 - 社会理解
------	-----------------------

職名	教授	担当教員名	彼谷 環
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	火曜日	時限	2限目
開講時期	3年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	「社会あるところ法は存在する」(Ubi societas, ibi ius)。法は、特定の時代の、特定の地域における価値観が大きな影響を及ぼす。現代の日本、そして世界ではどのような法が適用され、また求められているだろうか。社会と法の相互作用を確認しながら、将来、教育者や保育者等を目指す者にとって必要な法的知識と価値判断について考えていく。			
-------	--	--	--	--

キーワード	家族	契約	紛争と裁判	生命倫理	罪刑法定主義
-------	----	----	-------	------	--------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの教育、保育、福祉に関わる者を意識して、最低限理解すべき法分野について学ぶ。 ・裁判員制度の導入をきっかけに、身近な存在となった法について、多角的多面的に考察する。 ・法の成り立ちから、社会制度と法の関係、グローバル社会における法の役割までを理解する。 			
------	---	--	--	--

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	1. 「人」としての資質・能力(人間性の向上)	4. 21世紀を生きる社会人としての資質・能力(社会性の向上)
カリキュラムポリシー	1. 子ども育成の教養	

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス 「法の世界」をのぞいてみよう	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	法とは何か 正義との関係、道徳との違い、法の体系	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	家族から考える法 婚姻と離婚、夫婦の権利義務	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	家族から考える法 親子をめぐるルール、相続に関する問題	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	さまざまな契約 「契約が成立すること」の要件、問題のある意思表示とは	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	消費生活と法 現代の消費者問題、訪問販売とマルチ商法	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	医療と法 生殖補助医療の発展、妊娠・出産の自己決定（リプロダクティブ・ライツ）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	医療と法 脳死と臓器移植、安楽死と尊厳死	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	犯罪と法 突然逮捕されてしまったら？ 犯罪被害と罪刑法定主義	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第10回	犯罪と法	少年法の実在意義、「修復的司法」の考え方	
	【予習】		0分
	【復習】		0分
第11回	仕事と法	職場の労働条件はどうやって決まるの？ 採用と雇用の終了	
	【予習】		0分
	【復習】		0分
第12回	仕事と法	仕事と家庭の両立（ワーク・ライフ・バランス）、多様な働きかた	
	【予習】		0分
	【復習】		0分
第13回	子どもと法	未成年者の意見表明権、「主権者」による政治	
	【予習】		0分
	【復習】		0分
第14回	子どもと法	児童虐待と犯罪被害者の支援策	
	【予習】		0分
	【復習】		0分
第15回	国際社会と法	「国際法」は法か？ グローバリゼーションと法の変化	
	【予習】		0分
	【復習】		0分
第16回			
	【予習】		0分
	【復習】		0分

評価方法	出席状況（20％）、授業への取り組み（30％）、課題レポート（50％）を総合的に評価します。		
使用資料 <テキスト>	丹羽徹編『子どもと法』（法律文化社）	使用資料 <参考図書>	テーマにあわせ適宜資料を配布する。
授業外学修等	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のはじめに今日生起している法的ニュースを取り上げるので、各自新聞をよく読むこと。 ・授業テーマについては、テキストや資料・文献等を参考に復習を心がけること。 		
授業外質問方法	時間外の質問は、メールで受け付けます。彼谷（kayatama@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー			

授業科目名	地方自治法	科目コード	G1201L05
英文名	Local Self-Government Law		

科目区分	学部共通科目 - 地域づくり科目		
------	------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	後藤 智
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	金曜日	時限	1限目
開講時期	1年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>皆さんはあまり意識していないかもしれませんが、地方自治のあり方は、私たち国民・住民の権利利益(人権)の保障・実現に直結するという意味で、重要なものといえます。したがって、私たち住民・国民の立場からその内容や質が問われねばなりませんし、また、その内容や質を自治体が自主的・自律的に確保するための制度的条件の整備が行われているか等も問題にされねばなりません。こういった観点から、この授業では、憲法上・法律上の地方自治保障の法的意味内容について学ぶとともに、地方自治をめぐる現在の問題状況を認識して、問題解決のための視角を得ることを目指して学んでいきます。</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	地方自治	住民自治	団体自治	自治権	地方分権改革
-------	------	------	------	-----	--------

到達目標	<p>目標 : 日本国憲法が定める地方自治保障の法的意味内容を理解することができる。 目標 : 地方自治法等の現行法制度の下で、憲法上の地方自治保障の理念が実際に実現されているかを、事実に基づいて客観的に認識できるようになる。 目標 : 自治体が現在抱えている諸問題を発見し、問題解決のための視角や思考方法を修得する端緒を得る。</p>			
------	--	--	--	--

ディプロマポリシー	4. 社会人としての能力 (社会性の向上)	
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上	幅広く多様な専門知識の修得

キー・コンピテンシー (重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法 (授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス この授業の概要、成績評価方法その他注意事項等。 1 地方自治体の諸活動 様々な行政領域に対応した多様な自治体活動（概観）	
	【予習】「授業外学習等」の欄参照（第2回以下同じ）。	30分
	【復習】「授業外学習等」の欄参照（第2回以下同じ）。	30分
第2回	2 地方自治の理念および歴史 (1) 現代国家における地方自治の理念・意義（概説） 「何のため」の地方自治なのか、本来あるべき国と地方自治体の関係・役割	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	2 地方自治の理念および歴史（続き） (2) 大日本帝国憲法下の地方制度 外見的立憲君主制下の地方制度、その問題性	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	3 日本国憲法における地方自治保障 (1) 憲法92～95条の規定の内容…二元代表制にも触れながら (2) 地方自治の「本旨」：住民自治と団体自治…その内容と両者の関係	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	3 日本国憲法における地方自治保障（続き） (3) 地方自治の基本原則とヨーロッパ地方自治憲章 近接性原理、補完性原理、全権限性の原則、自己責任の原理、自治体の財源保障等	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	3 日本国憲法における地方自治保障（続き） (4) 憲法上の地方自治保障の性質または根拠に関する学説 伝來說（国家承認説）、固有権説、制度的保障説、新固有権説等	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	4 地方分権改革の推移と現状 (1) 第1次地方分権改革 (2) その後の地方分権改革	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第8回	4 地方分権改革の推移と現状（続き） (3) 地方分権改革の到達点 市町村 = 「総合行政主体」論の当否、地方自治体の規模についての再考の必要性、市町村合併と道州制	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	5 地方自治法の概要 (1) 地方自治法は何を定めているか（概要） (2) 地方自治法上の「地方公共団体」：普通地方公共団体と特別地方公共団体、その他の地方自治の担い手	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	6 地方自治体の事務と国の関与の仕組み (1) 国と地方自治体の役割分担など (2) 地方自治体の事務の区分：地方分権一括法（1999年）以前と以後の違い	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第11回	6 地方自治体の事務と国の関与の仕組み (3) 機関委任事務の廃止と自治事務・法定受託事務 (4-1) 国の関与の仕組み	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	6 地方自治体の事務と国の関与の仕組み (4-2) 国の関与の仕組みとその問題点 * 国の関与をめぐる事例検討：沖縄での米軍基地建設のための埋立工事の事例など	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	7 地方自治体の自治立法権（条例制定権） (1) 自治体の立法権 (2) 条例制定権の範囲：法律と条例の関係に関する議論	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	8 住民の権利 (1) 住民自治の担い手としての「住民」 (2) 地方自治法上の住民の権利...とくに直接民主主義的権利について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	9 民主主義と地方議会 * 議会の存在意義、現状における問題点など	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第16回	期末試験	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	<p>原則として、期末筆記試験（70％）と出席状況および受講態度（30％）とによって評価します。</p> <p>ただし、課題提出や授業内での発表を課した場合には、それをも加味して評価を行います（期末筆記試験配点分の一部をそちらの評価分に充てます。その場合の配点については授業中に明示します）。</p>
------	--

使用資料 <テキスト>	岡田正則・榊原秀訓・大田直史・豊島明子『地方自治のしくみと法』（自治体研究社	使用資料 <参考図書>	白藤博行・後藤智他『アクチュアル地方自治法』（法律文化社、2010年）、芹沢齊他
----------------	--	----------------	--

授業外学修等	<p>授業において配付する資料も多くあります。その配付資料や教科書の該当箇所は必ず事前に読んで、予習ノートを作成するようにしてください。それを元に質問することは大歓迎です。また、当日取り扱う事項についての配付資料は、授業後に、重要な箇所をノートに書き写す等の復習を行ないましょう。</p> <p>さらに、しっかりと理解ができなかった箇所がある場合には、図書館に向向いて、参考図書や授業で使用しているもの以外の教科書等の文献を参照してください。「自分で調べる」努力が求められます。</p>
--------	---

授業外質問方法	<p>メール等での質問も受け付けますが、原則としては、直接会ってやりとりをしたいと考えます。そのほうが、的確に対応できるからです。オフィス・アワー以外の時間でも対応可能なときもあります。これについてはメール等で問い合わせてください。メールアドレスは、授業時間中に伝えます。</p>
---------	--

オフィス・アワー	木曜日 2 時限
----------	----------

授業科目名	旅行業論	科目コード	G2402L03
英文名	Travel Agency Business		

科目区分	観光専攻科目 - 観光の実際		
------	----------------	--	--

職名	非常勤講師	担当教員名	浦田 美紗
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	木曜日	時限	4限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	旅行業は観光産業のあらゆる分野と繋がっています。また現在、旅行業は日本や世界の社会・経済・政治の変化やITの高度化、環境問題などに直面し、大規模な変革が求められています。この授業では旅行業の仕組みや事業活動を学ぶとともに、現状の課題を理解し、これからの旅行業の姿についても考えていきます。			
-------	--	--	--	--

キーワード	IT	インバウンド	地域との連携	サステナブル
-------	----	--------	--------	--------

到達目標	<p>目標 : 旅行業の社会に果たす役割を理解する。</p> <p>目標 : 旅行会社の仕組みと実務について理解する。</p> <p>目標 : 旅行業の現状と経営課題を認識し、今後のあり方を考える。</p>			
------	---	--	--	--

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)		
-----------	-------------------------	--	--

カリキュラムポリシー	観光に関する専門性の向上		
------------	--------------	--	--

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
---------------------------	--	--	--	--

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
-------------------	--	--	--	--	--

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイドンス、旅行業とは（役割と機能）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	旅の歴史と旅行業の変遷	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	旅行業の現状（旅行マーケットの規模と概要＝国内旅行、海外旅行、インバウンド旅行）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	旅行業に関する法令・約款	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	旅行業の経営と財務の特徴	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	旅行業の業態（旅行業の分類と種別、販売形態、流通形態）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	旅行市場 - 1（パッケージツアー、教育旅行、業務旅行、視察旅行）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	旅行市場 - 2（イベント・コンベンション、プライダルマーケット、クルーズ）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	旅行業とインターネットの普及	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

	旅行プランニングの技術、旅行パンフレットを読み解く	
第10回	【予習】	0分
	【復習】	0分
	ツアーコンダクターの実務	
第11回	【予習】	0分
	【復習】	0分
	ガイド、ツアーオペレーターの実務	
第12回	【予習】	0分
	【復習】	0分
	社会の進展とニューツーリズム、旅行業による地域貢献	
第13回	【予習】	0分
	【復習】	0分
	旅行業に求められる人材像	
第14回	【予習】	0分
	【復習】	0分
	旅行業の未来（経営課題と今後の展望）	
第15回	【予習】	0分
	【復習】	0分
	試験	
第16回	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	課題（授業中および家庭での課題と小レポート）（30%） 授業姿勢（出席状況、積極性、受講マナー）（40%） テスト（期末テスト）（30%）		
使用資料 <テキスト>	『旅行業務入門』（JTB総合研究所）	使用資料 <参考図書>	授業中、適宜紹介します。
授業外学修等	授業毎の復習で理解を深めてください。また、旅行産業に関する様々なニュース、トピックスに関心を持ち、絶えず情報収集に努めてください。 理解度確認のため、課題やレポートの提出も求めます。		
授業外質問方法	次のメールアドレスに連絡のこと。uradamisa@yahoo.co.jp		
オフィス・アワー			

授業科目名	地域社会と観光			科目コード	G2402L05
英文名	Regional Community and Tourism				
科目区分	観光専攻科目 - 観光の実際				
職名	非常勤講師	担当教員名	山下 隆司		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	月曜日	時限	3限目		
開講時期	2年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	全国各地の観光先進地の実例や観光情報の発信など、観光によるまちづくりの実践を通して、観光そのものの可能性、地域の活性について学ぶ。				
キーワード	観光	地域活性化	ホスピタリティ	ニューツーリズム	情報発信
到達目標	目標 : 富山県の観光について、現状を学ぶ。 目標 : 全国の観光について先進事例を学ぶ。 目標 : 観光を通じた地域活性化の発想と方法を習得する。				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)				
カリキュラムポリシー	幅広く多様な専門知識の修得				
キー・コンピテンシー(重視する能力)					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス「観光を学ぶ」	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	タウン情報誌の見た富山の40年	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	富山県観光の現状と課題	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	富山市中心市街地活性化と観光の可能性	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	観光地はいかに形成されたか？	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	観光地が主役のメディア発信とは？	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	グリーン・ツーリズムについて	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	産業観光について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	観光における地域連携	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第10回	まちなか観光を考える	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第11回	NPO法人富山観光創造会議の実践	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	新幹線開業3年目と富山の観光	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	八尾・岩瀬地区の観光	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	アートイベントとまちづくり	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	まとめにかえて～観光振興がまちづくりに果たす役割	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第16回		
	【予習】	分
	【復習】	分

評価方法	出席(50%)、演習(ミニレポート)の発表点(25%)、修了レポート(25%)		
使用資料 <テキスト>	・観光地パンフレット ・富山市観光資料	使用資料 <参考図書>	歴史と観光 富山近代史の視座(山川出版)
授業外学修等	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートに要点をメモする。授業後に復習する習慣を身につける。 ・授業の中でテーマに添ったミニレポートを作成する。文章を書く能力を身につける。 		
授業外質問方法	・事務局を通し、質問に答える。		
オフィス・アワー			

授業科目名	観光と交通			科目コード	G2403L09
英文名	Tourism and Commuting				
科目区分	観光専攻科目 - 観光の実際				
職名	非常勤講師	担当教員名	山崎 正治		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	木曜日	時限	2限目		
開講時期	3年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	1. 公共交通の現状と社会に及ぼす影響について（都市、地方圏） 2. 鉄道は地域に何をもたらすか。新幹線と在来線の両面について 3. 選ばれる観光地の要因と、それを支える人的資源について 4. 観光資源から見た都道府県の特徴と交通の果たしている役割（毎回授業の最初に都道府県を一つとりあげ、その特徴を解説）				
キーワード	観光	交通	まちづくり	駅	プレゼンカ
到達目標	1. 交通問題を含む諸課題について、現状分析と将来推計に必要な基礎統計の習得 2. 鉄道を中心とした公共交通の重要性とその維持のために必要な施策の理解 3. 観光が地域経済に及ぼす影響と、それを支える人的資源の育て方の理解				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	幅広く多様な専門知識の修得				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 半年間の講義のサマリーと交通概論、地図の楽しみ方	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	交通・観光分析に必要な基礎知識 日本の地理	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	交通・観光分析に必要な基礎知識 統計	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	交通・観光分析に必要な基礎知識 プレゼンテーションに必要な要素と手法	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	交通需要分析手法としてのパーソントリップ調査とそこから見えるもの	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	輸送手段の種類と特性、現状と将来	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	鉄道の役割1 都市圏交通（鉄道がまちを作っていく）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	鉄道の役割2 地方圏交通（鉄道の衰退はまちの衰退）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	ワークショップ1 プレーストーミングによる交通政策への提案作成	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第10回	日本の鉄道の歴史 国鉄～JRを中心に	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第11回	新幹線が地域に及ぼす影響 先行事例も参考に	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	「駅」の役割と機能 使いやすい愛される駅の条件	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	ワークショップ2 時代とともに変化する観光ニーズを探る	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	選ばれる観光地の事例研究1 静岡県富士宮市	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	選ばれる観光地の事例研究2 沖縄県竹富町・石垣市	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第16回	(レポート提出)	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	レポート50 出席50%		
使用資料 <テキスト>	特になし	使用資料 <参考図書>	特になし
授業外学修等	<ul style="list-style-type: none"> ・前提事項 特になし ・時間外に必要な学習等 特になし 		
授業外質問方法	E-mail s-yamaz@pd.ctt.ne.jp		
オフィス・アワー			

授業科目名	生活と水環境			科目コード	G3202L01
英文名	Life and the Water Environment				
科目区分	環境デザイン専攻科目 - 生活環境系				
職名	教授	担当教員名	尾畑 納子		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	水曜日	時限	1限目		
開講時期	2年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	<p>水は、生活にとって必要不可欠なものであり、また、富山県にとって大きな財産でもある。この大切な水について、基本的性質を知り、生活する上で安全な水の維持管理や水の活用方法について考える。生活水についての基礎的な知識として、自然水の性質、水質汚濁と環境基準、さらに生活排水の汚染の実態、上下水の浄化システム、新しい水の活用等について説明する。</p>				
キーワード	富山の名水	ミネラルウォーター	水道水	下水	水賦存量
到達目標	<p>生活と水について、性質、資源としての重要性を理解する。 飲料水としての水質基準や生活排水の環境基準など安全な暮らしを維持するための環境基準を知る。 富山の水環境の実態を知る。</p>				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	環境デザインに関する専門性の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	平成27年度オリエンテーション くらしと水のかかわりについて述べる	
	【予習】	0分
	【復習】自分のくらしと水の関わりについて最も関心の高い点をまとめる	0分
第2回	水と生体 生命と水について、健康面を中心として	
	【予習】健康と水に関して、印象に残っている体験をまとめる	0分
	【復習】健康と水の関わりで重要な点を整理する	0分
第3回	くらしと水 使う水、おいしい水、富山の名水、飲む水	
	【予習】各自の家庭の水使用量を調べる	0分
	【復習】水の利用について、まとめる	0分
第4回	飲む水 おいしい水、富山の名水、名水百選 など	
	【予習】富山の名水地についてHP調べる	0分
	【復習】実際に2か所名水の地を訪ね、特色を調査する。(課題)	0分
第5回	ミネラルウォーターと飲料水 ミネラルウォーターの成分の違いについて、実際に飲み比べる	
	【予習】	0分
	【復習】ミネラルウォーターの成分と健康の関係について整理する	0分
第6回	ミネラルウォーターと飲料水 ミネラルウォーターの生産、将来	
	【予習】富山で製造されているミネラルウォーターを調査する	0分
	【復習】店頭に並ぶミネラルウォーターについて実際にどれくらいの種類が販売されているか調べる	0分
第7回	水の基本的性質 くらしの中で関係する水の物理化学的性質について、水の起源	
	【予習】高校時代の理科のテキストを参照する	0分
	【復習】くらしの自然現象の中で水に関わる点をまとめる	0分
第8回	水道の歴史 現在の水道の原点を探る	
	【予習】	0分
	【復習】自宅の水道水の処理について確認する	0分

第9回	<p>水質基準（水処理など） 世界の水道について、日本の水質基準について</p>	
	【予習】	0分
	【復習】世界の水事情について調べ日本の実情と比較する	0分
第10回	<p>下水道の歴史と現状 日本の下水道整備の歴史、現在の処理方法について</p>	
	【予習】自宅の下水処理状況を調べる	0分
	【復習】今後の水利用についてどのようにすべきかまとめる	0分
第11回	<p>富山の水環境、生活環境基準 富山県の水環境を世界、日本の各地と比較する</p>	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	<p>新しい水の利用 水について、様々な処理方法、利用について</p>	
	【予習】	0分
	【復習】新しい水の利用について提案する	0分
第13回	<p>地球環境問題と水環境 地球環境問題の中から、水環境の問題を取り上げる</p>	
	【予習】	0分
	【復習】世界の水事情について、地域ごとにまとめる	0分
第14回	<p>水の循環、将来の水需要 水循環から見た将来の水需要を様々な視点から推定する</p>	
	【予習】	0分
	【復習】水利用の在り方について考える	0分
第15回	<p>総括、質問、意見交換</p>	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第16回	<p>試験</p>	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	授業中の態度・課題（40％）期末試験（40％）フィールドワークにおける調査報告（20％）		
使用資料 <テキスト>	プリント配布	使用資料 <参考図書>	平成26年度日本の水資源（国土交通省）
授業外学修等	授業画衣における課題については、'各家庭における水使用の調査、名水現地調査を実施し、レポート作成、その他に予習・復習の厳守		
授業外質問方法	授業終了後の空き時間もしくはobata@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	金曜日3時限		

授業科目名	生活環境論（住環境デザイン）		科目コード	G3202L03	
英文名	Living Environment II (Residential Design)				
科目区分	環境デザイン専攻科目 - 生活環境系				
職名	教授	担当教員名	川本 聖一		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	月曜日	時限	3限目		
開講時期	2年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	<p>本学の住環境分野に関する授業は、「生活環境論（後半部分）」「生活環境論」「住環境演習」「都市空間デザイン」である。その中で、「生活環境論（後半部分）」と「生活環境論」では、2つの講義を通して住環境に係わる職業人としての一般常識の習得と、「インテリアコーディネーター資格」などの住環境関連資格取得のための基礎知識習得を目指している。講義は1回ずつ完結するスタイルで行うため、「生活環境論」を未受講であったり、前回講義を欠席しても、その回の講義は理解できるように進めている。第1回～第15回までの講義予定を下記に示すが、進行状況や内容の更新に伴い変更</p>				
キーワード	世界の住まいの歴史	人間工学	家具・インテリアの	住まいの構造・材料	環境工学
到達目標	<p>目標：世界の住まいの歴史について理解する。 目標：住まいと環境との関係を理解する。 目標：住まいを構成する材料、設備、構造を学び、住まいの計画手法、生産方式を理解する。</p>				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	環境デザインに関する専門性の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第2回	世界の住まい1（古代～ゴシック）	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第3回	世界の住まい2（ルネッサンス～近代）	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第4回	現代の住まい	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第5回	現代のインテリア	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第6回	人間工学と椅子の設計	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第7回	家具の設計・インテリアの寸法	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第8回	モジュール・住宅の設計	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第9回	モジュール・住宅の設計	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分

第10回	住宅を構成する材料	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第11回	住まいの環境工学（気候・空気・音）	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第12回	住まいの環境工学（光・熱・省エネ）	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第13回	設備機器	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第14回	電気設備・照明・防災設備	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第15回	バリアフリーデザイン	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第16回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	<p>期末考査は行わない。毎回の講義の終わりに行う「ミニテスト」、全員が提出すべき「必修レポート」（「復習レポート」を含む）、各自興味がある項目を深く掘り下げる「自由レポート」、調べたことを全員の前で発表する「プレゼンテーション」の4項目で評価する。頑張った人には、頑張った分に応じて高い評価をする方針である。</p>		
使用資料 <テキスト>	オリジナルプリントを配布 各自フォルダーを用意して配布されたプリ	使用資料 <参考図書>	授業の内容はWEB上にアップするので、予習・復習に活用することができる。（下記
授業外学修等	<p>授業以外に、自ら調べてそれを自分の言葉でまとめる作業を、ほぼ毎回宿題として出題する。全員が提出すべき「必修レポート」、過去の講義内容を復習する「復習レポート」、各自興味がある項目を深く掘り下げる「自由レポート」がある。</p>		
授業外質問方法	<p>オフィスアワーを中心に随時研究室にて質問を受け付ける他、メールやLINEにて対応する。遅刻や欠席の連絡は事前にメールやLINEにて行うことを希望する。</p>		
オフィス・アワー	<p>木曜日 4 時限</p>		

授業科目名	資源・エネルギー論			科目コード	G3302L07
英文名	Resources and Energy				
科目区分	環境デザイン専攻科目 - 地球・自然環境系				
職名	教授	担当教員名	上坂 博亨		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	金曜日	時限	1限目		
開講時期	2年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	現代社会を支える資源とエネルギーの供給と消費の過程を量的に把握し、食糧と人口との関係にも目を向けた現状と今後の見通しについて考える。そして枯渇性資源から脱却した持続可能な社会を形成するための、再生可能エネルギーの可能性と利用方法について学び、生活との関わりの中での資源・エネルギー感覚を養う。				
キーワード	化石燃料	枯渇性資源	再生可能エネルギー	持続可能性	水素社会
到達目標	<p>目標 : 資源とエネルギーの概念について理解し、現代社会における枯渇性資源の現状と見通しを大局的に理解する。</p> <p>目標 : 再生可能エネルギーの種類と性質、分布と利用方法などについて概要を理解する。</p> <p>目標 : 生活の中での、エネルギー循環のフローとボリュームを理解し、適切な行動ができるようにする。</p>				
ディプロマポリシー	1. 「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	環境デザインに関する専門性の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーションとトピックス 本授業の概要を示し、本授業で学ぶ内容と授業の受け方について説明する 資源開発と環境負荷について概要を解説する	
	【予習】新聞やテレビのニュースなどから、再生可能エネルギーに関する記事の一つピックアップして読んでおく	0分
	【復習】再生可能エネルギーの活用することの重要性をまとめておく	0分
第2回	人口変動と高齢化 中国とインドをはじめとする発展途上国の爆発的な人口増加にともなって、世界人口は爆発的に増加している。その一方で、世界に先駆けて日本の人口は減少に転じ、人口ピークであった2010年を境に大きく減り始めた。加えて劇的な速度で進む高齢化の実態にもせまる	
	【予習】日本と世界の国々の人口を調べておく 世界の国を人口の順に10位までリストアップし、おおよその人口が言えるようにしておく	0分
	【復習】将来の年齢層別の人口変動を予測して、2030年と2050年および2100年の高齢化率を計算せよ	0分
第3回	日本のエネルギー問題 実質的なエネルギー自給率が4%と言われる日本において、化石燃料依存性が引き起こす様々な問題について考える	
	【予習】自宅ではどのようなエネルギーを利用しているかについて調査しておく	0分
	【復習】自宅でのエネルギー源別の費用を、月別にまとめ、年間のエネルギー費用を算出する	0分
第4回	枯渇性資源の動向 - 石油 - コリンキャンベルの化石燃料生産曲線を基礎として、世界の石油生産の動向と日本の石油依存性について現状を分析する。さらにに非在来型の石油資源について理解をふかめ、石油の将来と重要性を考える	
	【予習】身の回りの石油製品を10種類ピックアップする	0分
	【復習】「もし日本への石油供給が止まったら・・・」と題して、想像できる社会の姿をA4用紙1枚でまとめてみよう	0分
第5回	枯渇性資源の動向 - 天然ガス - 日本における天然ガス生産の歴史をヒモ解き、天然ガスの世界的動向と日本におけるガス依存性について学ぶ。さらに2010年にIEAが報告した「The Golden Age of Gas」の意味を理解し、非在来型の天然ガスの現状を学ぶ	
	【予習】自宅のガス使用量を調査せよ	0分
	【復習】自宅でのガスの使用量を月別に集計して、1年間の使用量と料金を集計せよ	0分
第6回	枯渇性資源の動向 - 石炭 - 日本における石炭生産の歴史をヒモ解き、石炭の由来や世界的動向について学ぶ。	
	【予習】自宅のガソリン使用量を調査せよ	0分
	【復習】自宅でのガソリンの使用量を月別に集計して、1年間の使用量と料金を集計せよ	0分
第7回	枯渇性資源の動向 - ウラン - 東日本大震災以降、身近な問題として注目をあびる原子力発電について理解を深め、様々な議論が交わされている原子力発電所の是非と日本のエネルギー政策について議論を深める	
	【予習】自宅の灯油使用量を調査せよ	0分
	【復習】自宅での灯油の使用量を月別に集計して、1年間の使用量と料金を集計せよ	0分
第8回	二次エネルギーの動向 一次エネルギーと二次エネルギーの概念を整理し、エネルギー資源について理解をする。さらに電力・ガス・熱供給について考え、エネルギー資源との関連性を正しく整理する。	
	【予習】自宅の電気使用量を調査せよ	0分
	【復習】自宅での電気の使用量を月別に集計して、1年間の使用量と料金を集計せよ	0分

第9回	再生可能エネルギー～風力～ 風力のもつエネルギーについて理解し、その特徴、長所や短所、分布と利用方法などについて学ぶ。また世界や日本の風力利用の現状を学び、持続可能な社会づくりにおける風力の位置づけと可能性について理解する。	
	【予習】発電機によって電気ができる原理を調べ理解しておく	0分
	【復習】デンマークにおける風力開発の歴史と現状および問題点についてA4用紙半分程度のメモを作成せよ	0分
第10回	再生可能エネルギー～太陽光～ 太陽光のもつエネルギーについて理解し、その特徴、長所や短所、分布と利用方法などについて学ぶ。また世界や日本の太陽光利用の現状を学び、持続可能な社会づくりにおける太陽光の位置づけと可能性について理解する。	
	【予習】太陽電池によって電気ができる原理を調べ理解しておく	0分
	【復習】中国における太陽光発電の歴史と現状および問題点についてA4用紙半分程度のメモを作成せよ	0分
第11回	再生可能エネルギー～水力～ 水力のもつエネルギーについて理解し、その特徴、長所や短所、分布と利用方法などについて学ぶ。また世界や日本の水力利用の現状を学び、特に富山県における水力の有効性と地域特性を理解する。	
	【予習】水力によって水車が回る原理について調べ理解しておく	0分
	【復習】日本における水力発電（水力開発）の歴史と現状および問題点についてA4用紙半分程度のメモを作成せよ	0分
第12回	再生可能エネルギー～地熱～ 地熱のもつエネルギーについて理解し、その特徴、長所や短所、分布と利用方法などについて学ぶ。また世界や日本の地熱水力利用の現状を学び日本への適用性を考える。特に富山県に豊富なエネルギーとしての温泉の可能性にも注目する。	
	【予習】地熱発電の方法について調べて概要を理解しておく	0分
	【復習】アイスランドにおける地熱利用の歴史と現状およびその特徴についてA4用紙半分程度のメモを作成せよ	0分
第13回	再生可能エネルギー～バイオマス～ バイオマスのもつ資源としての可能性について理解し、その特徴、長所や短所、利用方法などについて学ぶ。また67%の森林率を誇る富山県においての森林の有効性と経済性についても理解する。	
	【予習】バイオマスとはどのようなものか、例を挙げながら概要を理解しておく	0分
	【復習】日本の森林利用の歴史と現状および問題点についてA4用紙半分程度のメモを作成せよ	0分
第14回	水素社会に向けた基礎知識～水素とは何か～ 二次エネルギーとしての水素の性質を明らかにし、その製造から利用までの特長や長所・短所について学ぶ。さらに燃料電池をもちいた電力と熱生産の原理と応用について学び、燃料電池車の特長や可能性について理解する	
	【予習】水素自動車の原理について調べて概要を理解しておく	0分
	【復習】燃料電池の原理と仕組みについてA4用紙半分程度のメモを作成せよ	0分
第15回	水素社会にむけた基礎知識～水素の利用～ 人類が未経験の水素利用社会について、従来のエネルギーとの違いや社会における利用技術と利用者リテラシーなどに注目し、もしかするとやってくるかもしれない水素社会についての理解を深め未来に備える	
	【予習】水素ステーションについて仕組みと問題点について概要を理解しておく	0分
	【復習】水素利用における製造・貯蔵・運搬・利用の技術についてA4用紙半分程度のメモを作成せよ 並びにこれまでに作成してきたA4用紙半分程度のメモを集大成して一つのファイルにまとめ提出せよ	0分
第16回	期末試験	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	課題レポートと期末試験にて評価する。基準以上の出席回数がない場合は試験を受けることができない。		
使用資料 <テキスト>	(特になし)	使用資料 <参考図書>	パワーポイント資料を配布する
授業外学修等	テレビや新聞で報道されるエネルギー関連記事にも注目すること		
授業外質問方法	電子メールでの質問を受け付ける 送信先：uesaka@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	木曜日 2 時限		

授業科目名	都市空間デザイン	科目コード	G3403L06
英文名	Urban Space Design		

科目区分	環境デザイン専攻科目 - 社会環境系		
------	--------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	川本 聖一
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	木曜日	時限	1限目
開講時期	3年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>本学の住環境分野に関する授業は、「生活環境論（後半部分）」「生活環境論」「住環境演習」「都市空間デザイン」である。その中で、「生活環境論（後半部分）」と「生活環境論」では、2つの講義を通して住環境に係わる職業人としての一般常識の習得と、「インテリアコーディネーター資格」などの住環境関連資格取得のための基礎知識習得を目指している。それを踏まえて「都市空間デザイン」では、「生活環境論」で学んだ基礎知識が、実社会における法制度や社会システムの中でどのように生かされていくのかを学ぶ。また、住環境関連産業について学ぶとともに、商品開発の中で</p>				
-------	---	--	--	--	--

キーワード	住宅市場	住宅産業	建築基準法	品確法	長期優良住宅
-------	------	------	-------	-----	--------

到達目標	<p>目標：住環境産業界を取り巻く最新状況を把握する。 目標：今日的な住環境産業界の問題点を認識する。 目標：上記問題点の解決に向けた将来展望のイメージを持つ。</p>				
------	--	--	--	--	--

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
-----------	-------------------------	--	--	--	--

カリキュラムポリシー	環境デザインに関する専門性の向上				
------------	------------------	--	--	--	--

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第2回	日本の住宅市場の現状	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第3回	住宅産業の誕生と成長	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第4回	住宅産業の構造	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第5回	建築関連法制度1（法規の概要）	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第6回	建築関連法制度2（用途地域と建物の大きさ）	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第7回	建築関連法制度3（用語の定義と居室の規定）	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第8回	建築関連法制度4（安全・安心に暮らすための規定）	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第9回	品確法1（概要と構造性能）	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分

第10回	品確法2（火災・劣化・維持管理・省エネ）	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第11回	品確法3（空気・光・高齢者・防犯・音）	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第12回	その他の法制度	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第13回	住宅産業の最新技術	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第14回	住宅産業の課題	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第15回	住宅産業の将来展望	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第16回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	<p>期末考査は行わない。毎回の講義の終わりに行う「ミニテスト」、全員が提出すべき「必修レポート」（「復習レポート」を含む）、各自興味がある項目を深く掘り下げる「自由レポート」、調べたことを全員の前で発表する「プレゼンテーション」の4項目で評価する。頑張った人には、頑張った分に応じて高い評価をする方針である。</p>		
使用資料 <テキスト>	オリジナルプリントを配布 各自フォルダーを用意して配布されたプリ	使用資料 <参考図書>	授業の内容はWEB上にアップするので、予習・復習に活用することができる。（下記
授業外学修等	<p>授業以外に、自ら調べてそれを自分の言葉でまとめる作業を、ほぼ毎回宿題として出題する。全員が提出すべき「必修レポート」、過去の講義の内容を復習する「復習レポート」、各自興味がある項目を深く掘り下げる「自由レポート」がある。</p>		
授業外質問方法	<p>オフィスアワーを中心に随時研究室にて質問を受け付ける他、メールやLINEにて対応する。遅刻や欠席の連絡は事前にメールやLINEにて行うことを希望する。</p>		
オフィス・アワー	<p>木曜日 4 時限</p>		

授業科目名	環境デザイン特別講義			科目コード	G3503L01
英文名	Special Lecture on Environmental Design				
科目区分	環境デザイン専攻科目 - 総合				
職名	教授	担当教員名	尾畑 納子		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	木曜日	時限	3限目		
開講時期	3年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	環境問題を地域の視点で捉え、問題解決に向けての方策を考えるため、地域のエネルギー企業、施設、行政担当者を招き富山の実情を学ぶ。具体的には、エネルギー分野、政策面では行政の担当者、地域活動や自然環境の専門家などを招いて新しい情報提供を受けながら、地球環境をふまえて、富山の未来環境をデザインするために情報を収集し、課題解決に向けた方策について考える。少なくとも1回は県外の第一人者の講義を実施する。				
キーワード	富山の自然	エネルギー	災害	富山の森	環日本海
到達目標	環境に関わる専門分野の第一人者から現在の実情や取組を聞き実態を理解する。 環境問題の解決に向けた具体的な提案ができるようになる。				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	環境デザインに関する専門性の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（平成28年度実施計画） 平成28年度のテーマ及び講義内容を説明する。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	エネルギーと環境（電気事業を中心として） 地球環境と地域のエネルギーについて	
	【予習】 電気エネルギー事業について調べる	0分
	【復習】 富山の電気とエネルギー事業について整理する	0分
第3回	エネルギーと環境（電気事業を中心として） 原子力発電について	
	【予習】 原子力発電と最近の動向を調べる	0分
	【復習】 エネルギーについて、原子力と将来について考える	0分
第4回	エネルギーと環境（ガス事業を中心として）	
	【予習】 ガス事業とエネルギーについて調べる	0分
	【復習】 地域でのガスエネルギーの将来利用について考える	0分
第5回	エネルギーと環境（自然エネルギー、再生エネルギーを中心として）	
	【予習】 自然エネルギーとはどのようなものを指すか調べる	0分
	【復習】 富山での自然エネルギーの将来像を考える	0分
第6回	エネルギーの将来像について考える（グループ討議）	
	【予習】 これまでの4回の授業を整理する	0分
	【復習】 エネルギーの在り方について自分の考えをまとめる（課題）	0分
第7回	富山県の生活環境の現状	
	【予習】 環境白書または環境科学センターのHPを見る	0分
	【復習】 富山県の生活環境の現状の課題について明確にする	0分
第8回	廃棄物の実態（リサイクルなど） 一般ごみ、産業廃棄物などから見た廃棄物の実態と資源化について	
	【予習】 環境白書やHPで事前に現状を確認	0分
	【復習】 今後の在り方についてまとめる	0分

第9回	環境福祉学と地域環境について 環境と福祉との関係性について、事例を聞きながら接点を探る	
	【予習】	0分
	【復習】環境福祉学と地域環境の関わりから、富山での事業が考えられるか。	0分
第10回	富山の自然（環日本海を中心に） 日本海の特徴について	
	【予習】環日本海の領域について調べる	0分
	【復習】環日本海領域の自然の特色についてまとめる	0分
第11回	富山の自然（富山湾の生物） 富山湾の健全性について	
	【予習】富山湾の地形の特色について調べる	0分
	【復習】健全性を保つための対策	0分
第12回	富山の自然 富山県の地形から見た自然環境の特色	
	【予習】立山の自然について調べる	0分
	【復習】立山の自然の特色と環境保全	0分
第13回	富山の地形と災害 特に常願寺川と立山砂防の取組みを中心として	
	【予習】常願寺川の災害史について調べる	0分
	【復習】富山の地形と災害対策についてまとめる	0分
第14回	富山の環境とくらし 富山県の森林と森づくりについて	
	【予習】全国植樹祭について成果を調べる	0分
	【復習】森林整備と自然災害の関係について整理する	0分
第15回	総括及び質問	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第16回	富山市の環境政策について	
	【予習】	0分
	【復習】富山の環境（自然、社会）を持続可能にするにはどのような対策が考えられるか。	0分

評価方法	概ねの基準：毎時授業のレポート（40％）、課題（30％）、期末テスト（30％）		
使用資料 <テキスト>	必要に応じてプリント配布	使用資料 <参考図書>	最新の環境白書
授業外学修等	授業時に課題を出す。		
授業外質問方法	授業終了後、質問を受ける。またはobata@tuins.ac.jpへ連絡 本授業に関しては、講師の都合により一部変更となることがありますので了解ください。		
オフィス・アワー	木曜日 4 時限		

授業科目名	情報社会論	科目コード	G4202L06
英文名	Information Society		

科目区分	経営情報専攻科目 - 経営環境		
------	-----------------	--	--

職名	教授	担当教員名	秦野 るり子
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	水曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	情報化社会が進んでいます。米大統領選で問題となったフェイク・ニュースに見られるように、メディア・リテラシーがより求められています。情報、メディアの役割とは何かを具体例をもって検証し、リテラシーを高めると同時により良い情報発信とは何かを考えます。			
-------	--	--	--	--

キーワード	メディア	世論	情報操作		
-------	------	----	------	--	--

到達目標	1. 情報の歴史と効用を知る。 2. メディア・リテラシーを高める。			
------	---------------------------------------	--	--	--

ディプロマポリシー	1. 「人」としての能力（人間性の向上）		
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上		学生の基礎的能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
		/			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 情報とは何かを考えます。	
	【予習】新聞に目を通す。	0分
	【復習】	0分
第2回	メディアの歴史 人類誕生以来のメディアの発展の歴史を振り返ります。	
	【予習】新聞を読む	0分
	【復習】	0分
第3回	世論 民主主義国家において政治・社会を動かす「世論」とは何か。その形成における情報とメディアの役割とは何かを考えます。	
	【予習】配布するペーパーを読んでおく。	0分
	【復習】	0分
第4回	米大統領選 1年あまりをかけて戦う米大統領選は、政治と情報・メディアの歴史そのものです。歴代大統領選から、その発展を考えます。	
	【予習】	0分
	【復習】配布するペーパーを読んで、大統領選の仕組みをきちんと理解する。	0分
第5回	トランプ米大統領とメディア 2016年大統領選から当選後の今もトランプ氏は、既存の大手メディアの有用性に疑問を投げかけてきました。その意味を考えます。	
	【予習】新聞の縮刷版等で、昨年の大統領選におけるメディア関連の記事に目を通しておく。	0分
	【復習】	0分
第6回	サイバー戦争 ウィキリークス、スノーデンが暴露した情報監視社会の実態。米中間のサイバー上でのせめぎ合いなどを見ます。	
	【予習】新聞を読む	0分
	【復習】	0分
第7回	アラブの春 情報が限定されていたアラブ諸国で、独裁政権転覆につながったSNSの影響力を考えます。	
	【予習】アラブの春とは何かを調べる。	0分
	【復習】	0分
第8回	中間テスト	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第9回	戦争とメディア ベトナム戦争で、戦場の様子が初めてテレビで伝えられ反戦運動が巻き起こりました。今、イスラム国は、テロリストのリクルートや、テロ行為の扇動にネットなどを駆使します。戦争とメディアの関係を検証します。	
	【予習】新聞等で、最新の動きを調べる。	0分
	【復習】	0分
第10回	宗教とメディア アメリカのメガチャーチやバチカンは、テレビ、ネットなどメディアを駆使して布教する。その影響力を考える。	
	【予習】新聞を読む	0分
	【復習】	0分
第11回	日本におけるメディア 日本におけるメディアの役割と問題点を考えます。	
	【予習】新聞を読む	0分
	【復習】	0分
第12回	情報発信 日本から世界に向けた情報発信の現状とあり方を考えます。	
	【予習】自分が出来る情報発信とは何かを考えておく。	0分
	【復習】	0分
第13回	メディアと法 情報化の進展と関連法はどう変化してきたのか。報道、言論の自由のない国の規制と併せて考えます。	
	【予習】新聞を読む	0分
	【復習】	0分
第14回	これからの情報・メディア フェイク・ニュース、ポスト・トゥルースが語られるようになりました。これからの変化を一緒に考えましょう。	
	【予習】自分の考えをまとめておく。	0分
	【復習】	0分
第15回	まとめとふりかえり	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第16回	期末テスト	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	授業態度・課題（４０％）中間試験(２０%)、期末試験(４０%)		
使用資料 <テキスト>	適宜配布します	使用資料 <参考図書>	世論 上下（W．リップマン著、岩波文庫）
授業外学修等			
授業外質問方法	いつでもオフィスを訪ねてください。		
オフィス・アワー	火曜日 13:00 ~ 14:30		

授業科目名	情報ネットワーク論	科目コード	G4503L03
英文名	Information Networks		

科目区分	経営情報専攻科目 - 情報システム		
------	-------------------	--	--

職名	准教授	担当教員名	高尾 哲康
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	1限目
開講時期	3年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	現在の情報ネットワーク社会はインターネットが基盤である。望ましい活用、発展のあり方、さらにトータルシステムとしての考え方を理解する。				
-------	--	--	--	--	--

キーワード	ネットワーク	コンピュータ	ソフトウェア	ハードウェア	サーバ・クライアント
-------	--------	--------	--------	--------	------------

到達目標	<p>目標： インターネットの仕組みと、情報セキュリティの問題、そのための種々の技術について理解する。</p> <p>目標： サーバ・クライアントモデルについて、具体例を挙げて説明できる。</p> <p>目標： 将来のインターネット社会、特にEC(電子商取引)とそれにかかわる問題、ビジネス、教育、行政、医療などへの活用についての理解を深める。</p>				
------	--	--	--	--	--

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)				
-----------	-------------------------	--	--	--	--

カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上		経営情報に関する専門性の向上		
------------	------------------	--	----------------	--	--

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	コンピュータと通信の発展過程、デジタル・ネットワークと情報化社会	
	【予習】シラバスを確認する。	10分
	【復習】情報ネットワークの基本知識を確認しておく。	30分
第2回	通信技術、構成と接続方式、LANとWANの仕組み	
	【予習】配付資料を読んでおく。	15分
	【復習】ネットワークの動作技術を確認する。	30分
第3回	階層モデル、伝送方式、変調方式、多重化など	
	【予習】配付資料を読んでおく。	15分
	【復習】ネットワークの通信方式を確認する。	30分
第4回	マルチメディアと通信の品質、高速化、高信頼化	
	【予習】配付資料を読んでおく。	15分
	【復習】マルチメディア通信技術を確認する。	30分
第5回	OSIモデルとプロトコル、インターネットの仕組み、データ伝送	
	【予習】配付資料を読んでおく。	15分
	【復習】インターネットの動作の仕組みを確認する。	30分
第6回	ドメイン名とDNSの仕組み、セキュリティ、ファイヤーウォール	
	【予習】配付資料を読んでおく。	15分
	【復習】インターネットの動作の仕組みを確認する。	30分
第7回	暗号、認証システム、EC(電子商取引)	
	【予習】配付資料を読んでおく。	15分
	【復習】情報ネットワークのセキュリティ技術について確認する。	30分
第8回	情報端末、携帯電話、モバイル端末	
	【予習】配付資料を読んでおく。	15分
	【復習】情報ネットワークの利用形態について確認する。	30分
第9回	インターネット活用と社会変革、ビジネス、教育、行政、医療、ユビキタス、ICタグ	
	【予習】配付資料を読んでおく。	15分
	【復習】情報ネットワーク化社会について確認する。	30分

	WWWサーバ(HTTP)との通信、POP、FTP、DNSなど各種サーバとの通信	
第10回	【予習】配付資料を読んでおく。	15分
	【復習】ウェブサーバ動作の仕組みを確認する。	30分
	サーバ・クライアント間通信の復習	
第11回	【予習】配付資料を読んでおく。	15分
	【復習】インターネットサービスの仕組みについて確認する。	30分
	各種CGIシステムの構築	
第12回	【予習】配付資料を読んでおく。	15分
	【復習】CGIシステムの動作の仕組みについて確認する。	30分
	コラボレーションツールWikiの構築	
第13回	【予習】配付資料を読んでおく。	15分
	【復習】Wikiツールの動作の仕組みを確認する。	30分
	MovableTypeを利用したSNS構築	
第14回	【予習】配付資料を読んでおく。	15分
	【復習】ブログシステムの動作の仕組みについて確認する。	30分
	まとめと復習	
第15回	【予習】これまでの配付資料を再確認しておく。	30分
	【復習】これまで学んだことを再確認する。課題レポートを作成する。	4分
第16回	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	授業への参加態度（出席状況、ミニレポートなど）40%、課題レポート60%		
使用資料 <テキスト>	プリントを配布、必要に応じてスライド表示する。	使用資料 <参考図書>	「マスタリングTCP/IP 入門編 第4版」（竹下 隆史
授業外学修等	15分以上の遅刻は入室禁止。配布されたプリントにて事前学習しておくことが望ましい。インターネットを利用したシステム構築も行なうのでノートPCなどの活用を勧める。		
授業外質問方法	共有ファイルサーバに、授業で配布する講義資料をアップロードします。質問等は、e-ポートフォリオの掲示板やメールを利用するか、授業の前後やオフィスアワーなどに直接声をかけてください。		
オフィス・アワー	火曜日 3 時限		

授業科目名	スクールソーシャルワーク論			科目コード	K1503L14
英文名	Theory of School Social Work				
科目区分	子ども育成の相談・援助				
職名	教授	担当教員名	村上 満		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	木曜日	時限	4限目		
開講時期	3年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	自由	単位数	2単位		
授業の概要	我が国の学校教育現場にスクールソーシャルワーカーを導入する意義とその必要性について学ぶとともに、スクールソーシャルワーカーの価値と倫理、業務と果たす役割、スクールソーシャルワークの支援の基盤となる理論と実際について、ミクロレベルからメゾ、マクロレベルにわたって理解する。				
キーワード	SSW	不登校	いじめ	発達障害	貧困
到達目標	今日の学校教育現場が抱える課題とその実態について理解できる。 これまでのスクールソーシャルワークの発展過程と実践モデルについて理解できる。 スクールソーシャルワークの支援方法について理解できる。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション：学校教育現場が抱える課題とその実態 児童生徒を取り巻く学校の問題	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	学校教育現場が抱える課題とその実態 児童生徒を取り巻く家庭・地域の問題	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	学校教育現場が抱える課題とその実態 スクールソーシャルワークの導入意義	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	スクールソーシャルワークの価値・倫理 ソーシャルワークの視点と定義	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	スクールソーシャルワークの価値・倫理 人権と社会正義 / 児童の権利条約	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	スクールソーシャルワークの発展過程 アメリカのSSW発展史	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	海外のスクールソーシャルワーカー 海外のスクールソーシャルワーカーの活動概要と役割	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	スクールソーシャルワークの発展過程 日本のSSW発展史	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第9回	スクールソーシャルワークの実践モデル エコロジカルアプローチ	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	スクールソーシャルワークの実践モデル エンパワメント・ストレングスアプローチ	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第11回	スクールソーシャルワークの実践事例 ミクロレベル：個別・集団支援	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	スクールソーシャルワークの実践事例 メソレベル：学校・家庭・地域支援	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	スクールソーシャルワークの実践事例 マクロレベル：教育行政支援	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	スクールソーシャルワーカーへのスーパービジョン スーパービジョンの方法について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	スクールソーシャルワーカーへのスーパービジョン スーパービジョンの体制について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第16回	これまでの振り返りとまとめ 期末試験	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	期末試験(70%)、レポート提出・平常点(30%)を総合的に判断する。		
使用資料 <テキスト>	『スクールソーシャルワーカー養成テキスト』	使用資料 <参考図書>	毎回の授業で、関係資料を配布する。 スクールソーシャルワーカーのしごと(中
授業外学修等	上記時間外においても、予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。 毎回講義の開始時に、振り返りのための復習課題を課す。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メール(murakami@tuins.ac.jp)で質問してください。		
オフィス・アワー			